

ホッカンホールディングス決算説明会

証券コード: 5902



2015年6月1日
ホッカンホールディングス株式会社

目次



代表取締役社長 工藤 常史

2015年3月期決算概要

2015年3月期決算概要	・・・	3
2015年3月期決算補足 ― 減損損失	・・・	4
2016年3月期見通し	・・・	5
2016年3月期見通し補足 ― 売上高	・・・	6
ホッカン・グループ紹介	・・・	7
ACTIVE-5数値計画	・・・	8
ACTIVE-5基本戦略	・・・	9
ACTIVE-5既存事業進捗	・・・	10
ACTIVE-5海外事業進捗	・・・	11
ACTIVE-5新規 (M&A)事業進捗	・・・	12
ACTIVE-5新規 (M&A)事業進捗	・・・	13
ACTIVE-5新規 (M&A)事業進捗	・・・	14
ACTIVE-5今期重点取組事項	・・・	15

【参考】経営成績

要約連結貸借対照表	・・・	27
要約連結損益計算書	・・・	28
要約連結キャッシュフロー計算書	・・・	29

【参考】会社概要

プロフィール	・・・	31
経営理念	・・・	32
本社と各社工場	・・・	33
沿革	・・・	34
お問合せ先	・・・	35

常務取締役 山崎 節昌

2015年3月期決算詳細

2015年3月期決算詳細	・・・	17
連結セグメント情報	・・・	19
連結損益計算書	・・・	20
連結貸借対照表	・・・	21
連結有利子負債の圧縮	・・・	22
連結キャッシュフロー計算書	・・・	23
連結設備投資	・・・	24
配当政策	・・・	25

2015年3月期決算概要

2015年3月期決算概要



単位：百万円、%

	2015年3月期		2014年3月期	
		前期比伸び率		前期比伸び率
売上高	152,931	▲9.9	169,714	1.6
営業利益	816	▲78.3	3,765	▲23.7
経常利益	1,652	▲64.4	4,639	▲22.2
当期純利益	▲4,805	-	1,966	▲35.4

- 売上高：夏場・天候不順の影響により容器、充填事業共に販売不振
- 営業利益：販売不振、エネルギーコストの高止まり等を受け減益
- 経常利益：営業外損益は前期並みも、営業利益段階の影響により減益
- 当期純利益：減損損失計上の影響により欠損計上

2015年3月期決算補足—減損損失



単位：百万円

セグメント	対象	内容	金額
容器事業	北海製罐 岩槻工場	缶詰用空缶製造設備	4,040
	北海製罐 館林工場	缶詰用空缶製造設備	934
充填事業	日本キャンパック 第一工場	飲料缶充填設備	485
その他	PTホッカンインドネシア	プラスチック製品製造設備	8

- 容器事業においては飲料缶販売不調、大口受注先の飲料事業撤退等による影響を受け2015年度 岩槻工場、館林工場の営業黒字を見込めず
- 充填事業においては飲料缶充填部門の収益性悪化に伴う不採算

連結決算：2016年3月期見通し概要



単位：百万円、%

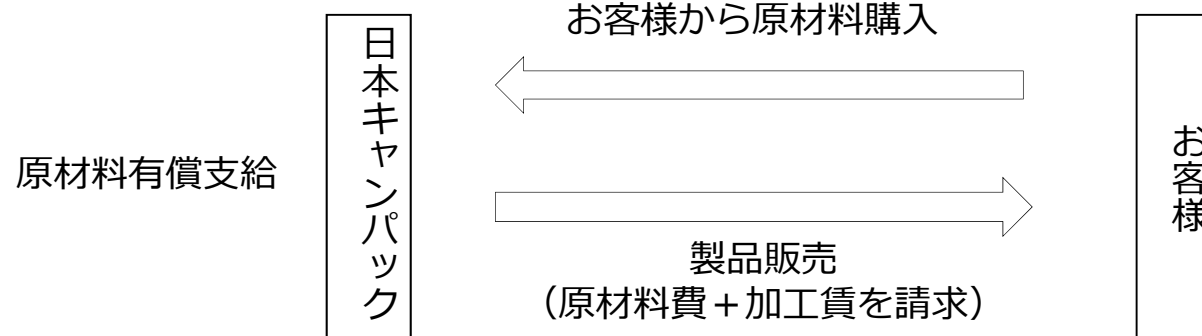
	2016年3月期				2015年3月期	
	通期予想	前期比	上期予想	前年同期比	実績	前期比
売上高	122,000	▲20.2	64,000	▲22.9	152,931	▲9.9
営業利益	3,000	267.6	2,500	63.9	816	▲78.3
経常利益	3,500	111.8	2,800	30.6	1,652	▲64.4
当期純利益	2,000	-	1,500	20.8	▲4,805	-

- 清涼飲料市場は今後も緩やかに成長することを想定するも販売競争は激化の見込み
- 原材料価格は小幅な下落、エネルギーコストは高止まりを想定
- スチール缶市場は市場環境の変化により厳しい経営環境が続く見込み

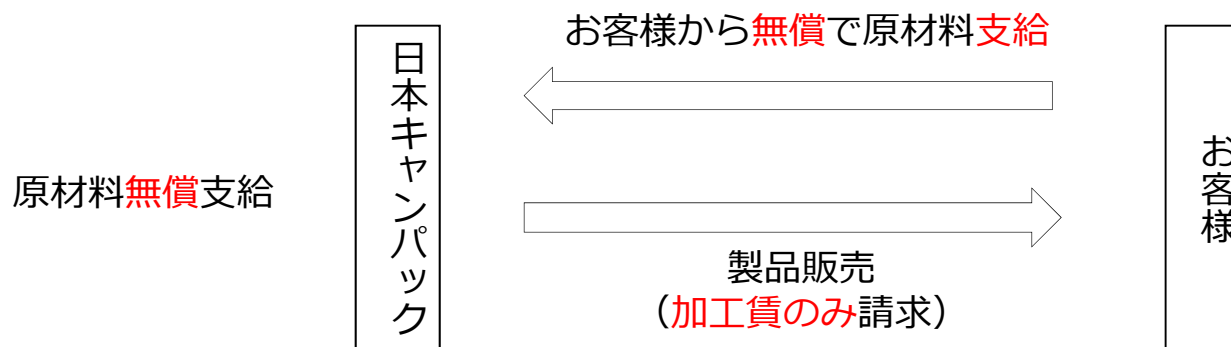
連結決算：2016年3月期見通し補足 — 売上高



日本キャンパックこれまでの取引形態



日本キャンパック 新たな取引形態



- 16年度連結売上高見込み、15年度対比約300億円減少は上記取引形態変更によるもの
- 日本キャンパック 16年度見込み製造数量は15年度と比較してやや減少を想定
- 取引形態変更は一部お客様のみ

ホッカン・グループ紹介



ホッカンホールディングス
(持株会社)

持分法適用会社

トーウンサービス
(物流事業)
ユニバーサル製缶
(飲料缶事業)

北海製罐
(容器事業)

日本キャンパック
(充填事業)

オーエスマシナリー
(機械製作事業)

昭和製器
(飲料缶・食缶)

日東製器
(食缶・エアゾール)

東都成型
(化成品容器)

ワークサービス
(請負事業)

ホッカン・インドネシア
(容器製造・充填事業)

ホッカン・タイ
(容器製造・販売)

コスメサイエンス
(化粧品製造・販売)

西日本キャンパック
(充填事業)

日本キャンパック
マレーシア
(充填事業)

日本キャンパック
ベトナム
(充填事業)

くじらい乳業
(ヨーグルト受託製造)

KE・OSマシナリー
(機械製作事業)



ホッカンホールディングス本社

ACTIVE- 5 数値計画



売上/利益計画	12/3期実績	13/3期実績	14/3期実績	15/3期実績	16/3期見通し	16/3期計画
売上高	1,731億円	1,669億円	1,697億円	1,529億円	1,220億円	1,850億円
営業利益	46億円	49億円	38億円	8億円	30億円	75億円
営業利益率	2.7%	3.0%	2.2%	0.5%	2.5%	4.1%
ROE	5.9%	7.1%	4.3%	N/A	4.5%	7.0%

財務計画	12/3期実績	13/3期実績	14/3期実績	15/3期実績	16/3期見通し	16/3期計画
有利子負債	464億円	435億円	444億円	512億円	540億	300億円
自己資本比率	29.9%	33.3%	33.4%	32.0%	33%	40.0%
流動比率	96.8%	100.5%	101.8%	92.2%	97%	100.0%

1. TPS(トータル・パッケージング・システム)
2. 環境
3. 海外事業
4. 新規事業 (M&A)
5. グループ経営
6. 情報システム

日本キャンパック 新無菌充填ライン稼働開始

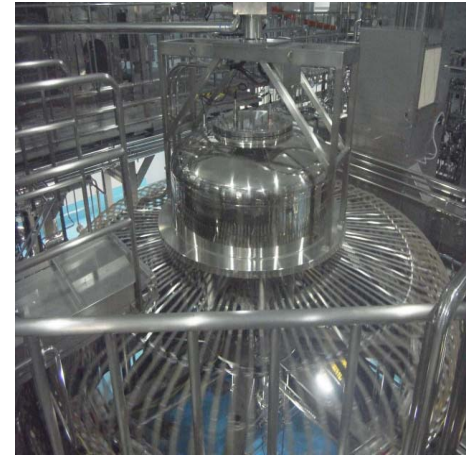
- 2015年4月 商業生産開始
- PET無菌充填ラインを第1工場へ導入
- 年間生産能力：約1,000万ケース
- 投資額：約66億円
- 小型、大型PET兼用ラインによる生産効率化を目指す



キャップ取付け後の製品



包装工程



充填機

PT.ホッカン・インドネシア 第2製造ライン稼働開始

- 2015年3月 PET飲料無菌充填 第2ライン 商業生産開始
- 2015年度 2ライン合計 1,000万ケース受注を目指す
- 投資額：約35億円
- インドネシア清涼飲料市場 年率約10%の成長を見込む



新設倉庫



PET容器製造設備



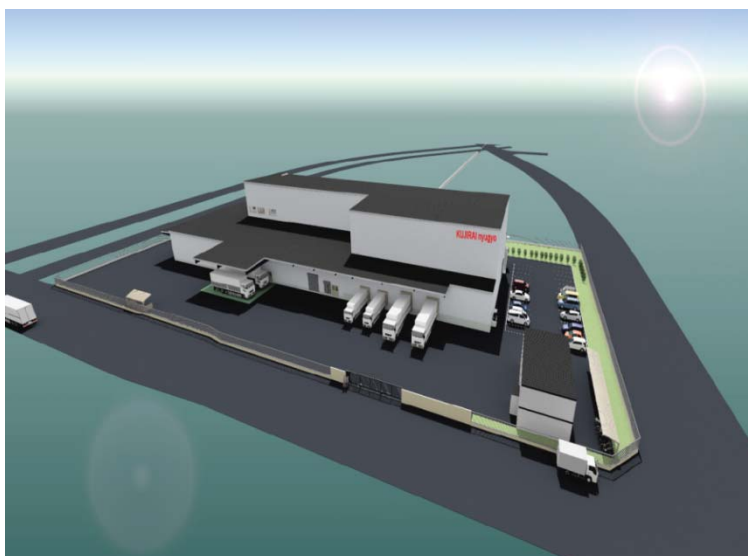
包装工程



第2ライン内覧会の様子

くじらい乳業 新工場建設開始

- ヨーグルト製品受託製造工場を新設
- 2015年11月頃 商業生産開始予定
- 4ポットタイプ・ヨーグルトを製造予定
- 投資額：約39億円
- 所在地：埼玉県行田市



工場完成予想図



建設中の工場外観



工事は順調に進行中

コスメサイエンス 新工場建設決定

- 2015年12月移転予定 (所在地：東京都北区浮間)
- 投資額：約14億円
- 都心に近く開発・生産・物流対応のスピードアップによる受注拡大を目指す
- 北海製罐 製袋充填式ブリック・パウチ設備を導入グループとして軟包材分野への進出を実現



完成予想図 (背景は倉庫)



ブリック・パウチとは？

ボトルの特性と軟包材の特性を融合させたコンセプトにより生まれた新型のスタンディングパウチ。従来型パウチ容器と比較すると、コスト面や取扱易さの面で大きなメリットあり。

容器製造会社 日本キム買収

- 2015年1月 容器製造会社 日本キムをグループ化
- 事業内容：口栓付き等の軟包装複合容器の設計、開発、製造、販売等
- 特 徴：口栓(スパウト)に関する特許を多数保有
- 狙 い：グループとしての軟包材分野への進出サポート



逆止弁付口栓(スパウト)など特徴ある製品を数多く開発

1. 容器事業：今期中の構造改革の完了
2. 充填事業：生産性向上による収益改善
3. 海外事業：東南アジア諸国への投資を継続
4. 新規事業(M&A)：新工場のスムーズな立ち上げ

2015年3月期決算詳細

2015年3月期決算詳細



スチール缶事業	飲料用スチール缶	カウンターコーヒーの影響 一部お客様のアルミ缶への移行	前年度比マイナス
	農産缶詰	スイートコーン缶の増産	前年度比プラス
	水産缶詰	水産原材料の価格高騰の影響	前年度比マイナス
	エアゾール缶	独自開発容器による順調な販売	前年度比プラス
	美術缶	新製品受注	前年度比プラス
プラスチック事業	飲料用ペットボトル	夏場の天候不順/お客様内製化の影響	前年度比マイナス
	プリフォーム	積極的な営業活動	前年度比プラス
	食品用プラスチックボトル	消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動	前年度比マイナス
	一般成形品	化粧品用/洗剤用の新製品受注	前年度比プラス

容器事業：売上高 42,720百万円 前年度比 ▲12.2%

セグメント別概要②



充填事業	缶製品	夏場の天候不順、カウンターコーヒーの影響	前年度比マイナス
	大型PET	新ライン導入による生産数量増加	前年度比プラス
	小型PET	夏場の天候不順の影響	前年度比マイナス

充填事業：売上高 104,447百万円 前年度比▲9.8%

機械製作事業	機械製作部門	好調な機械販売	前年度比プラス
	エンジニアリング部門	グループ内 容器製造/飲料充填ラインの受注	前年度比プラス

機械製作事業：売上高 1,591百万円 前年度比 +29.3%

その他	海外事業	PTホッカシ・インドネシア 第2ライン稼働開始	前年度比プラス
		日本キャンパック・ベトナムを連結化	—

その他：売上高 4,172百万円 前年度比 +4.8%

連結セグメント情報



単位：百万円

	2015年3月期				2014年3月期			
	容器 事業	充填 事業	機械 製作	その他	容器 事業	充填 事業	機械 製作	その他
売上高	52,764	104,447	13,202	5,678	60,696	115,822	8,128	5,572
外部顧客向け	42,720	104,447	1,591	4,172	48,681	115,822	1,230	3,979
セグメント間	10,043	-	11,611	1,505	12,014	-	6,898	1,593
営業利益	45	1,398	281	161	310	4,125	185	211
消去	▲1,070				▲1,067			
連結	816				3,765			

営業利益

- 容器事業：夏場の天候不順による販売不振、競争激化、一部お客様アルミ缶へ移行等の影響
- 充填事業：夏場の天候不順による販売不振、エネルギーコスト上昇により減益
- 機械製作事業：外部向け製品売上が拡大し増益
- その他事業：売上増加するも日本キャンパック・ベトナム赤字の影響を受け減益

連結損益計算書



単位：百万円、%

	2015年3月期			2014年3月期	
		百分比	前年同期 比伸び率		百分比
売上高	152,931	100.0	▲9.9	169,714	100.0
売上原価	138,942	90.9	▲8.8	152,306	89.7
売上総利益	13,989	9.1	▲19.6	17,407	10.3
販管費	13,173	8.6	▲3.4	13,641	8.0
営業利益	816	0.5	▲78.3	3,765	2.2
営業外収益	1,523	1.0	▲1.0	1,539	0.9
営業外費用	686	0.4	3.2	665	0.4
経常利益	1,652	1.1	▲64.4	4,639	2.7
特別利益	136	0.0	338.7	31	0.0
特別損失	6,257	4.1	559.3	949	0.6
税引前利益	▲4,468	-	-	3,722	2.2
当期純利益	▲4,805	-	-	1,966	1.2

- **売上高** : 16,783百万円減収
- **営業利益** : 2,949百万円減益
- **経常利益** : 2,987百万円減益

夏場の天候不順を受け、容器事業、充填事業共に大幅な販売不振により減収。これに伴い、営業利益、経常利益は大きく落ち込む結果となった。

- **純利益** : 6,771百万円減益
- 減損損失 容器事業 4,974百万円
- 充填事業 485百万円
- 投資有価証券評価損 492百万円

連結貸借対照表



単位：百万円、%

	2015年3月期		2014年3月期	
		構成比		構成比
流動資産	41,963	31.1	51,171	37.0
預金・現金	930	0.7	2,459	1.8
売上債権	28,305	21.0	34,233	24.8
棚卸資産	9,159	6.8	10,096	7.3
固定資産	92,857	68.9	87,003	63.0
有形固定資産	64,732	48.0	61,748	44.7
総資産	134,820	100.0	138,175	100.0
流動負債	45,500	33.7	50,242	36.4
仕入債務	19,465	14.4	27,300	19.8
短期借入金	14,084	10.4	11,422	8.3
固定負債	42,308	31.4	38,152	27.6
長期借入金	37,164	27.6	33,011	23.9
負債合計	87,808	65.1	88,395	64.0
純資産	47,012	34.9	49,780	36.0

■ 流動資産：9,208百万円減少

売上債権・大幅減少の影響

■ 固定資産：5,854 百万円増加

有形固定資産の増加、投資有価証券の価格上昇の影響

■ 流動負債：4,742百万円減少

買掛金・大幅減少の影響

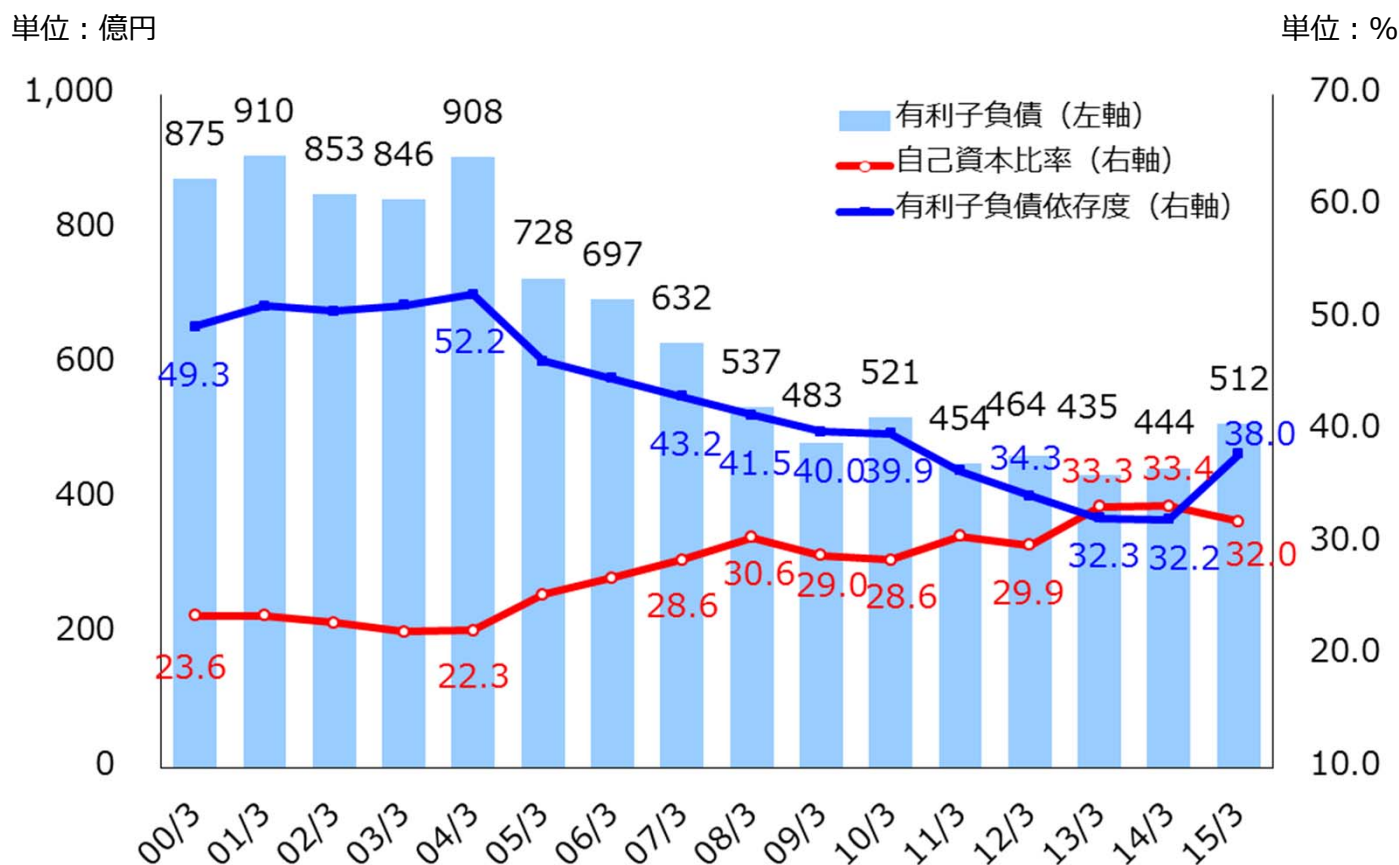
■ 固定負債：4,155百万円増加

長期借入金の増加

■ 純資産：2,767百万円減少

当期純損失48億5百万円の計上

連結有利子負債の圧縮



- 有利子負債は前期比6,815百万円増加し51,248百万円
- 有利子負債依存度は38.0%、自己資本比率は32.0%

連結キャッシュフロー計算書



単位：百万円

	2015年3月期	2014年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	7,756	9,710
投資活動によるキャッシュフロー	▲15,138	▲9,743
財務活動によるキャッシュフロー	5,706	673
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	101
現金及び現金同等物の増減額	▲1,611	741
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	82	248
現金及び現金同等物の期末残高	930	2,459

- 営業キャッシュフローは純利益、減価償却費が増加要因
- 投資活動キャッシュフローは主に充填事業および海外事業における設備投資が減少要因
- 財務活動キャッシュフローは長短借入金の収入、支出が増加要因
- 現金及び現金同等物は1,611百万円減少
- この結果、手元キャッシュは930百万円

連結設備投資



	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	見通し
設備投資額	40	45	141	90	88	67	101	166	94
減価償却費	87	79	74	90	92	82	79	81	58

※2015/3 設備投資額 くじらい乳業 新工場建設含む

※2016/3 設備投資額 くじらい乳業 新工場建設、コスメサイエンス新工場建設 含む

※2016/3 減価償却費 固定資産償却方法を定率法から定額法へ変更

2015年3月期 実績

- 容器事業： 製缶関連設備等 30億円
- 充填事業： ペットボトル充填関連設備等 90億円
- 海外事業： インドネシア第2ライン等 34億円
- 新規事業： くじらい乳業 新工場建設 11億円 (※非連結)

2016年3月期 予想

- 容器事業： プラスチック製品製造設備等 24 億円
- 充填事業： ペットボトル充填関連設備 20 億円
- 海外事業： インドネシア、ベトナム充填関連設備 8 億円
- 新規事業： くじらい乳業新工場建設 28 億円 (※非連結)
- コスメサイエンス新工場建設 14 億円 (※非連結)

配当に関する基本方針

剰余金の配当につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定した配当を行うことを基本方針としております。

2015年3月期の期末配当金につきましては、1株につき3円75銭と決定させていただきました。すでに実施済みの中間配当金1株当たり3円75銭と合わせまして、年間配当金は1株当たり7円50銭となります。

また、2016年3月期の配当金につきましても、中間配当金1株当たり3円75銭と合わせまして、年間配当金は1株当たり7円50銭を予想しております。

	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3 予想
配当金	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円
配当性向	47.4%	—	22.8%	42.1%	21.9%	16.6%	25.7%	—	25.2%

[参考] 経営成績

要約連結貸借対照表



単位：百万円、%

	2015年3月期		2014年3月期		2013年3月期	
		構成比		構成比		構成比
流動資産	41,963	31.1	51,171	37.0	51,663	38.3
預金・現金	930	0.7	2,459	1.8	1,470	1.1
売上債権	28,305	21.0	34,233	24.8	36,750	27.3
棚卸資産	9,159	6.8	10,096	7.3	9,728	7.2
固定資産	92,857	68.9	87,003	63.0	83,199	61.7
有形固定資産	64,732	48.0	61,748	44.7	60,319	44.7
総資産	134,820	100.0	138,175	100.0	134,862	100.0
流動負債	45,500	33.7	50,242	36.4	51,389	38.1
仕入債務	19,465	14.4	27,300	19.8	28,754	21.3
短期借入金	14,084	10.4	11,422	8.3	12,385	9.2
固定負債	42,308	31.4	38,152	27.6	35,654	26.4
長期借入金	37,164	27.6	33,011	23.9	31,125	23.1
負債合計	87,808	65.1	88,395	64.0	87,043	64.5
純資産	47,012	34.9	49,780	36.0	47,818	35.5

要約連結損益計算書



単位：百万円、%

	2015年3月期		2014年3月期		2013年3月期	
		前期比		前期比		前期比
売上高	152,931	▲9.9	169,714	1.6	166,981	▲3.5
売上原価	138,942	▲8.8	152,306	2.4	148,770	▲4.4
売上総利益	13,989	▲19.6	17,407	▲4.4	18,210	3.9
販管費	13,173	▲3.4	13,641	2.8	13,273	2.9
営業利益	816	▲78.3	3,765	▲23.7	4,937	6.8
営業外収益	1,523	▲1.0	1,539	▲15.0	1,810	23.5
営業外費用	686	3.1	665	▲15.1	783	6.8
経常利益	1,652	▲64.4	4,639	▲22.2	5,964	11.4
特別利益	136	338.7	31	244.4	9	▲90.6
特別損失	6,257	559.3	949	▲0.6	955	6.1
税引前利益	▲4,468	-	3,722	▲25.8	5,019	10.3
純利益	▲4,805	-	1,966	▲35.4	3,042	31.9

要約連結キャッシュフロー計算書



単位：百万円

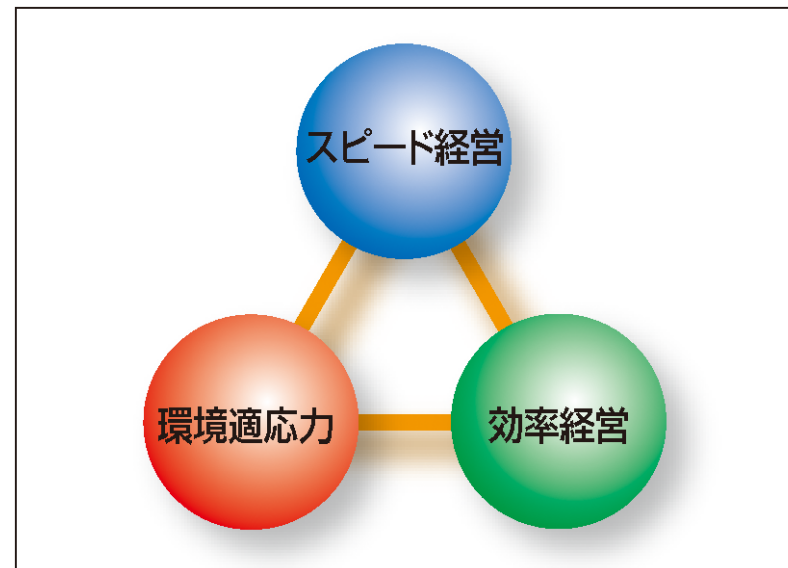
	2015年3月期	2014年3月期	2013年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	7,756	9,710	10,314
税引前当期純利益	▲4,468	3,722	5,019
減価償却費	8,120	7,884	8,309
支払利息	376	445	520
有形固定資産除売却損益	251	331	341
売上債権の増減額	5,937	2,744	2,530
棚卸資産の増減額	974	▲383	▲527
仕入債務の増減額	▲7,847	▲1,767	▲3,121
投資活動によるキャッシュフロー	▲15,138	▲9,743	▲6,650
有形固定資産の取得による支出	▲13,503	▲8,186	▲5,061
有形固定資産の売却による収入	3	0	26
財務活動によるキャッシュフロー	5,706	673	▲3,775
短期借入金の純増減額	2,935	▲546	▲1,948
長期借入金の純増減額	3,847	1523	▲970
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	101	▲13
現金及び現金同等物の増減額	▲1,611	741	▲125
現金及び現金同等物の期末残高	930	2,459	1,470

[参考] 会社概要

商号	ホッカホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
代表取締役社長	工藤 常史
創業年月日	大正10年10月23日
資本金	110億86百万円
事業概要	(1) 容器事業 (2) 充填事業 (3) 機械製作事業 (4) その他
株式	東証一部・札証 (証券コード : 5902)
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 2 号



昭和20年代の北海製罐
製造の金属缶



1. 容器・充填・機械製作を通じて社会・文化に貢献する事をグループのアイデンティティとしかつ、スピード感に溢れ、透明性の高い連邦型経営を押し進める事によりグループ企業価値・株主価値の最大化を図る。
2. 品質本位に最善の努力を行い、最高の商品を提供する企業グループとして特長ある技術・ビジネスモデル等の開発に努め、かつ、地球環境を大切とし広く社会・経済の発展に寄与する。

本社と各社工場



● ホッカンホールディングス 東京都

● 北海製罐

北海道	小樽工場 (昭和製器)
群馬県	明和工場 (日東製器)
	千代田工場
	東都成型
埼玉県	岩槻工場
	中央研究所
	コスメサイエンス
滋賀県	滋賀事業所
インドネシア	ホッカン・インドネシア
タイ	ホッカン・タイ

● 日本キャンパック

群馬県	第一工場
	第二工場
	赤城工場
	利根川工場
埼玉県	くじらい乳業
岐阜県	西日本キャンパック
マレーシア	日本キャンパック・マレーシア
ベトナム	日本キャンパック・ベトナム

● オーエスマシナリー

北海道	小樽工場
群馬県	群馬工場
静岡県	KE・OSマシナリー



日本キャンパック 利根川工場



OSマシナリー 群馬工場



北海製罐 岩槻工場

沿 革

- 1921年 北海製罐倉庫（株）創立 資本金100万円、本社小樽
- 1941年 製缶業者 8 社大合同により新たに東洋製罐（株）設立（旧北海製罐倉庫（株）は小樽工場となる）
- 1950年 企業再建整備計画により小樽工場およびその附属設備を分離し北海製罐（株）を設立 資本金5,000万円
本社は東京に設立 東京証券取引所に上場
小樽電解工業(株) 設立（現昭和製器(株)）
- 1954年 東都成型(株) 設立
- 1960年 日東製器(株) 設立
- 1971年 北海製罐 岩槻工場竣工
- 1973年 (株)日本キャンパック 設立、翌年第 1 工場竣工
- 1974年 (株)小樽製作所 設立（現オーエスマシナリー(株)）
- 1985年 (株)ワークサービス 設立
- 1988年 日本たばこ産業(株)と共同出資にて飲料充填会社である(株)ジェイティキャニングを設立
（2002年に連結子会社とし、社名を(株)西日本キャンパックへ変更）
- 1989年 北海製罐 千代田工場竣工
日本キャンパック 第 2 工場竣工
- 1997年 日本キャンパック 赤城工場竣工
日本キャンパック マレーシア設立
- 2005年 会社分割による純粋持株会社へ移行
三菱マテリアル(株)と共同で飲料用アルミ缶製造・販売会社であるユニバーサル製缶(株)設立
- 2006年 日本キャンパック 利根川工場竣工
- 2007年 キアンジュ・キャンパック ベトナム設立
- 2010年 日本キャンパック 利根川工場第 2 ライン竣工
- 2011年 PT.ホッカンインドネシア 設立
- 2012年 KE・OSマシナリー設立
キアンジュ・キャンパック・ベトナムを子会社化 日本キャンパック・ベトナムへ名称変更
- 2013年 ホッカン・タイ設立
株式会社コスメサイエンスを子会社化
- 2014年 くじらい乳業株式会社を子会社化



昭和30年代の北海製罐
函館工場と北洋漁業風景

注意事項



当資料に記載された内容は、2015年6月現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績見通し等の数値はその正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身でなされるようお願い致します。

お問合せ先：

ホッカンホールディングス株式会社

常務取締役 山崎 節昌

TEL：03-3213-5111